

令和元年度 都城市立明和小学校学校関係者評価書

学校の取組を振り返るために、全保護者・児童を対象に実施した学校評価アンケートと、職員へのアンケートの結果から、自己評価（考察）を行いました。その自己評価について、明和小学校運営協議会委員の方からご意見をいただき学校関係者評価書を作成しました。ここで、明らかになった成果と課題を、令和2年度の取組に生かしていきたいと思っております。お忙しい中、御協力頂きありがとうございます。

4：大変よい（90%以上） 3：だいたいよい（～70%） 2：もう少し（～50%） 1：よくない（50%未満）

	項目	ポイント			自己評価	考察	学校関係者評価	
		児童	保護者	職員			意見	評価
かしこく【知】	1 授業へ楽しく参加していますか	3.3	3.3	3.2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかる」「できる」授業づくりを工夫し、少人数指導で個に応じた指導にも取り組んできたが、全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査では、県平均を下回っている。まず、学習規律や習慣の確立が必要である。 ○ 自分の考えや思いを伝えることに、苦手意識があるようだ。自分の考えや思いを話したり書いたりする機会を、各教科等の中で増やしていく必要がある。 	○ 学校の取組を継続してほしい。	3
	2 授業内容の理解していますか	3.3	3.1	2.8				
	3 自分の考えや思いを伝えてありますか	2.8	2.8	2.6				
	4 学年で決まった時間家庭学習していますか（低30～50分 中50～70分 高70～90分）	3.1	2.9	2.5				
あかるく【徳】	5 学校の生活のきまりを守っていますか	3.3	3.3	2.6	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規範意識を高めるために、全職員での一貫した指導や、道徳教育の充実が必要である。 ○ ソーシャルスキルトレーニングや認知機能を高めるトレーニングなどに取り組むとよいのではないか。 ○ 季節ごとの、図書室の設営や、読書指導の工夫により、学校では本によく親しんでいるが、家庭での取組に個人差があると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校、家庭、地域それぞれの教育力が下降気味に感じる。今一度、原点に帰り、真剣に向き合うべきである。（我慢の大切さ、家庭でのしつけの在り方） ○ これまでも実施している、読書ボランティアの活用を継続し、子どもたちに本のよさを指導してほしい。 ○ 悩みの相談等、専門機関の利用を進めていくとよいのではないか。 	3
	6 みんなや家族と協力して掃除をしていますか	3.0	2.8	2.7				
	7 友だちに傷つく言葉を言ったり、嫌がることをしたりしていませんか	3.3	3.2	2.6				
	8 家庭で本を読んでいますか	3.0	2.6	2.4				
たくましく【体】	9 交通のきまりを守り、安全に気をつけていますか	3.7	3.3	2.8	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童は、交通のきまりが理解できていなかったり、自分の行動が客観視できていないことが考えられる。繰り返し指導が必要である。 ○ 外遊びが好きな児童と、そうでない児童の二極化が見られるが、今後も、元気に外で遊んだり運動したりすることを推奨していく。 ○ 健康、安全に関する、学級活動や保健での指導の工夫が必要である。視覚的で具体的な指導が必要である。 ○ う歯の治療勧告を進めてきたが、なかなか治療に行かない児童がいる。保護者には、繰り返し文書で知らせたり学校保健委員会で取り上げたりするなど、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登校時の見守り安全指導は継続して実施していく。 ○ 下校時の指導をもっと充実すべきである。 ○ 交通事故、登下校時や学校外での遊びに潜む危険等の意識付けのため、警察署、地区の見守り交通指導員等の講話を実施するとよい。 	3
	10 外で元気よく遊んだり、運動したりしていますか	3.4	3.4	3.1				
	11 早起き、早寝、朝ご飯、朝ウンチに心がけ、規則正しい生活をしていますか	3.0	3.2	2.6				
	12 歯みがきをしたり、う歯の治療をしたりしていますか	3.5	3.4	2.5				
その他	13 学校からのプリントやテストを見せていますか	3.4	3.3	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校からのプリントが保護者に届くよう、文書とメール、ホームページの活用を図る。 ○ 地域の人材の活用については、地域のコーディネーターのおかげで、推進することができた。今後も、協力をお願いしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域としては、学校と地域が一つになり、いろいろな行事参加をできる体制をつくるよう努力する。 ○ 各地区行事の実施日等を学校だより等に載せてもらうことができるとよい。 	3
	14 学校のことを家のひとに話しますか（児童） 学校は相談に適切に対応していますか（保護者・職員）	3.3	3.3	3.3				
	15 地域や子ども会の行事へ参加していますか（児童・保護者） 地域の人材を活用した授業を行っていますか（職員）	3.0	3.0	3.1				
	16 通信等でようすを伝えてありますか（保護者・職員）	3.2	3.4					